

# 重水素化材料・研究分科会について

## 名称、代表等

- 1) 名称: 重水素材料研究分科会 \* 重水素化化合物の生成とその利用に関する研究
- 2) 代表者: 佐治木弘尚(岐阜薬科大学)
- 3) 分科会幹事: 阿久津和宏(CROSS)、安達基泰(QST)

## 主旨と目的

水素の安定同位体である重水素は、中性子による物質・生命科学研究にとって利用価値の高い元素である。中性子散乱実験では重水素化された分子は散乱コントラスト変調や非弾性散乱での動的散乱因子の制御に不可欠なものであり、多くの物質・生命科学実験で活用されている。

本分科会を、MLFを利用するユーザー及び国内外の研究者・技術者が世界の最先端の重水素化材料・研究について情報交換し、研究発展のための戦略を議論することを目的に設立する。分科会では研究会・講習会による議論を行うとともに、Web上での情報交流の場を設け、重水素化材料・研究に関わる情報についてユーザーの間で共有をはかる。一方、重水素化物は中性子実験のみならずNMR構造解析等でも重要な位置を占めるとともに重水素標識医薬品などの応用展開がなされており、これらの分野との交流も推進する。同時に、ユーザーの意見を取りまとめMLF重水素化ラボの運営と重水素化実験の促進のための協力と助言を行う。また、本分科会はANSTOやESSなどの他施設の重水素化ラボ利用者との交流の場としての役割も担う。